2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科　目　区　分	その他	授業の方法	講義
科　目　名	医療安全		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	14　時間(単位)
対 象 学 年	3学年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	石原　一二三	実務経験とその関連資格	看護師(内科、脳外科)　副看護師長(消化器科、整形外科) 看護師長(手術室、消化器内科・外科、教育担当、呼吸器科)			

《授業科目における学習内容》

医療安全における看護の責務・役割及び事故分析の方法を理解する。看護・医療における「安全」を理解し、日常の看護・医療の場で発生しやすい事故について認識を深め、必要な安全対策の基礎的知識を問題意識を持って理解する。

《成績評価の方法と基準》

終講試験

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシング・グラフィカ　看護の統合と実践2　医療安全

《授業外における学習方法》

日本医療機能評価機構の医療事故収集事業のウエブサイトなどから、関心のある医療事故やインシデントを検索し、医療安全の取り組みについて調べる

《履修に当たっての留意点》

医療安全の講義での既習知識(医療安全対策の考え方、事故発生のメカニズム)を復習し、関連付けながら学習を深めましょう

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国の医療安全対策のとりくみの考え方をふまえ、医療安全管理者の役割と事故発生時の対応について説明ができる	テキストP60～73 P.P	
		各コマにおける授業予定	1. 医療安全管理者創設の経緯、医療安全管理者とは 2. 医療事故への対応 3. 医療事故の被害者・家族の思いに寄り添ったケア		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護業務を行う際のリスクをふまえ、看護業務(診療の補助業務)に関わる事故とその背景、要因、対策について説明できる①	テキストP140～160	
		各コマにおける授業予定	1. 看護業務と事故発生要因 2. 誤薬と与薬事故 3. 患者誤認 4. 針刺し事故		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護業務を行う際のリスクをふまえ、看護業務(診療の補助業務)に関わる事故とその背景、要因、対策について説明できる②	テキストP177～183PP	
		各コマにおける授業予定	1. 輸血間違い 2. 医療機器トラブル(輸液ポンプ、心電図モニター等)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護業務を行う際のリスクをふまえ、看護業務(診療の補助業務)に関わる事故とその背景、要因、対策について説明できる③	テキストP185～190 PP	
		各コマにおける授業予定	1. チューブ類のトラブル		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護業務を行う際のリスクをふまえ、看護業務(療養上の世話)に関わる事故とその背景、要因、対策について説明できる①	テキストP161～171 PP	
		各コマにおける授業予定	1. 転倒転落		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護業務を行う際のリスクをふまえ、看護業務（療養上の世話）に関わる事故とその背景、要因、対策について説明できる	テキストP172～175　P201～202 PP	
		各コマにおける授業予定	1. 誤嚥・異食残渣 2. 入浴中の事故		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	業務の領域を超えて共通する間違いと発生要因について述べることができる	PP	
		各コマにおける授業予定	1. 患者間違いの要因と防止 2. 多重課題・タイムプレッシャーによる事故とその防止		
第8回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			